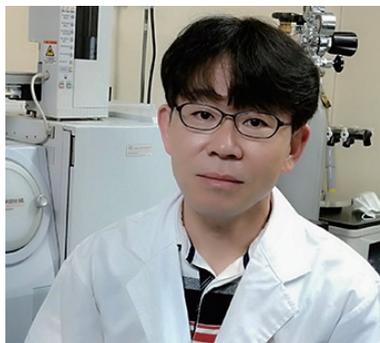




## 未来を拓く 研究室訪問

当社では、事業レベルの高度化や新サービスの開発において多くの大学の先生に助言を頂いたり、共同研究をさせて頂いています。そんなお世話になっている先生の研究内容について、インタビューさせていただき、その内容を大胆に抜粋して未来技術の今をお伝えします。



三重大学生物資源学研究所  
生物圏生命科学専攻  
三重大学海藻バイオリファイナー  
研究センター センター長  
准教授 柴田 敏行 先生

### ◆先生と当社との関係

「脱炭素」「SDGs」に向けて藻類を活用する動きがあり、セルロース組成や特有の成分解明に向けた分析技術の確立にあたり、貴重なご助言をいただいております。

## 先生の最近の研究

研究の内容	研究の魅力	研究の課題
2020年度NEDO先導研究プログラムにて、研究開発テーマ「大型海藻類の完全利用に向けた基盤技術の開発」が採択された。マリンポリフェノールをはじめ海藻類に含まれる特徴的な化合物の探索や海藻多糖類からの希少糖の創製、それらの生産と利用について研究を行っている。ゴールとして「海藻類の完全利用に向けたプロセスの構築」を目指している。	四方を海に囲まれた日本にとって、海藻類（ブルーカーボン）は、有望な天然資源と見なすことが出来る。マリンポリフェノールなど海藻類にしか含まれない化合物を発見した時や他には無い秀逸な生理機能を見出した時に大きなやりがいを感じる。機能性表示食品の開発などを通じて、研究成果が社会に還元されたこともあり、これも研究の魅力と言える。	日本沿岸域には、広大な藻場が広がっているが、大半の海藻類は未利用であり上手く活用出来ているとは言えない。海洋資源の利用と産業化のためには、地域の漁業組合など漁業従事者との連携が不可欠であるが、行政等による支援が無いため、現状では環境が整っていない。

## 先生から伝えたいこと

日本では、「磯焼け」と呼ばれる海藻資源の減少、その一方で「グリーンタイド」と呼ばれる海藻類の異常増殖など、海藻類に関わる環境問題が存在する。海藻バイオリファイナー（海藻からのものづくり）に関する研究は、新産業の創製に加え環境問題の解決にも貢献出来るため、今後も研究を続けていく必要性を感じている。

## インタビューの感想

先生には2003年から始まった研究の歴史から教えていただき、長きに渡る研究は壮大なプロジェクトとして今後も続いていくのだとこれからの未来が楽しみになりました。また海藻から抽出したポリフェノールに「マリンポリフェノール」と名称を商標登録していることに熱意も感じました。私は「ブルーカーボン」という言葉も知らなかったので、この言葉の意味は皆様に調べていただき、そこに関わる研究が今広がっていることを知っていただきたいと思います。

## 測ってみよう! 探検隊 Vol.76

### 四日市市街部の騒音の正体は!?

近鉄四日市駅からJR四日市駅までの中央道路緑地帯では、ムクドリの大群が問題視され、過去には鷹匠により定期的に鷹を放すなどの対策が行われていましたが、その効果はいまひとつ。今夏もかなりいたのですが、子育てが終了したのか、何かの要因なのか、9月に入った今は全くいなくなっています。そんな中、近鉄百貨店東口駅前広場の樹木には夜になると現在でも鳥の大群がいます。昼間は全く見かけないのですが、日没後暗くなるにつれて10羽、20羽毎の集団で帰還します。ムクドリが移動したのかと考えたものの大きさが1/3程で、実はスズメと判明。いずれにしてもその鳴き声が耳障りなので騒音計で計ってみた結果は右記のとおり。庭木や電柱で、数羽が「チュンチュン」と鳴いているのは可愛く聞こえますが、さすがに21時頃に70dBは騒音としか感じられませんでした。ただ、日没頃に帰還すること、鳴いているところが住宅地から離れた駅前であることから「スズメの宿」は安泰なのかもしれません。



測定日時: 2021年9月9日 21時頃  
測定場所: 樹木から5m程度離れたところ  
測定結果: 70~75 dB (うるさいと感じるレベル)

## セミナーご案内

### 第2回 WEBセミナー 開催のお知らせ

前号でも取り上げた弊社主催のWEBセミナーについてのご案内です。今回のテーマは「溶接ヒューム測定の実績と対策の事例を徹底紹介!!」として、実際に測定に行く技術者がお客様とのヒアリングを通して学んだ「現場責任者が本当に知りたかったこと」を中心に事例等をご紹介させていただきます。他業種でも興味のある方はご参加頂けます。詳細内容・お申し込みは弊社ホームページをご確認ください。

- 開催日時  
2021年10月14日(木)  
14:15~15:00
- 参加費: 無料
- 視聴方法: Zoom  
事前のお申し込みが必要となります。
- 締め切り  
2021年10月8日(金)



## 社員プチコラム

### 北島 和成 (環境事業本部 四日市分析センター フィールドGr)

1年程前から家族でロゲイニングというイベントに参加しています。ロゲイニングとは、地図を元に、2~3時間程の制限時間内に屋外のチェックポイントをウォーキングやランニングで回り、多くの得点を集めるオリエンテーリングに似たスポーツです。四日市市が力を入れており、気軽に参加できるので、頭と体を使うよい機会になっています。過去には東海テクノのある橋北地区もイベントエリアになったことがあり、地区の防災拠点や名所等を知ることができるイベント内容になっていました。歩くことが好きな方にはぜひおすすめしたいです。



## 編集後記

今年の夏は、オリンピック・パラリンピックに高校野球とスポーツ観戦三昧でした。長引く緊急事態宣言やワクチン接種の効果で感染も少しずつ収縮してきているように思われますが、来月開催予定だった「三重とこわか国体」も県内での開催だけに見送られ残念でなりません。我慢もあと少しであればよいのですが。(みっちー)

